

中央マシヨナランド州における地雷除去計画に関する現地メディア向けプレスツアー実施報告

10月5日から6日にかけて、現地メディア向けプレスツアーを実施し、新聞・テレビ・ラジオ5社6名のジャーナリストとカメラマンが参加しました。このプレスツアーは、日本の開発協力が現地メディアで取り上げられる機会を増やすとともに、ジンバブエ国民への情報発信を強化するためのものです。

プレス一行は、5日、中央マシヨナランド州マウント・ダーウィン郡ムクンブラ地区を訪れ、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力事業「中央マシヨナランド州における地雷除去計画」の引渡式の取材を行いました。また6日は、中央マシヨナランド州ビンドゥラ市のビンドゥラ科学教育大学を訪問し、同大学で活動する青年海外協力隊員や中央マシヨナランド州担当大臣を務めるディナ大臣等取材しました。

プレスツアー後、当国各紙、テレビ、ラジオで上記引渡式やビンドゥラ科学教育大学での協力隊員の様子等、日本の国際開発協力の取り組みが報道されました。7日付「ヘラルド」紙は、「日本は地雷除去に 200 万ドルを拠出」と題し、当国の地雷埋設地域での日本の取り組みを紹介しました。この他、様々な報道により、ジンバブエ国民の日本の開発協力事業への理解が一層深まることを期待しています。



地雷埋設現場視察の様子。



岩藤大使の引渡式でのスピーチ



ビンドゥラ科学教育大学にて、岩藤大使はディナ中央マシヨナランド州担当大臣と握手。そのほか室井隊員及び山村隊員等、大学及び政府関係者と記念撮影。

以下、本プレスツアーの当国での報道の一部を紹介します。今後も、日本の国際開発協力の取り組み等を積極的に広報していくよう、積極的に取り組んで参ります。

【報道一覧】

●日時:2017年10月7日

掲載紙:ヘラルド

タイトル:「Japan injects \$2m towards de-mining」(邦訳:「日本は地雷除去に200万ドルを拠出」)

記事リンク:<http://www.herald.co.zw/japan-injects-2m-towards-de-mining/>

●日時:2017年10月7日

掲載紙:ニュース・デイ

タイトル:「Mt.Darwin minefields, one of world's deadliest」(邦訳:「マウント・ダーウィンの地雷原地帯, 世界でも極めて深刻」)

記事リンク:

<https://www.newsday.co.zw/2017/10/mt-darwin-minefields-one-worlds-deadliest/>